

市の木



ツゲ

市の花



サツキ

広報 えびな

編集・発行

海老名市役所広報広聴課

〒243-04

神奈川県海老名市勝瀬175

☎ (0462) 31-2111

大丈夫ですか

家庭内での火の始末



火事！防ぐのはあなた

3月1日～7日

春の火災予防運動

「春遠からじ…」とはいえ、まだまだ寒いこの時期には、空気が乾燥し、風も強く、いったん火災が発生すると大火事になる恐れがあります。去年、市内で発生した火災件数は31件で、被害総額は約1億4千万円でした。また、件数の6割は建物火災で、その原因は「不明」のものを除き、こんろ、たばこ、ストーブの火の始末が目立ちました。3月1日からは「春の火災予防運動」が始まります。火の元には十分ご注意ください。

大切な防火習慣

「油断大敵」という言葉がありますが、去年、市内で発生したこんろ、たばこ、ストーブによる建物火災を調べてみると、①てんぷら油をこまめにかけたまま放置した。②たばこの灰が落ちていた。③こみ箱などに油をこぼれかき、こみ箱などに捨てた。④石油ストーブのタンクに間違ってガソリンを注入したり、電気ストーブに接触した際、点火スイッチが作動してしまったことに気づかなかつた。⑤などが原因であることがわかりました。

原因は一瞬の油断

こんろ、たばこ、ストーブに十分注意を

たばこは「しない、させない」習慣を、寝たばこの火がふとんの内部に入り込み、種火となつて数時間後に発火した例がたしかにあります。

◎ストーブはカーテン、障子、ふすまなどから離れた所に置き、就寝時などで消したときには必ず「指先確認」を。

「油断大敵」という言葉がありますが、去年、市内で発生したこんろ、たばこ、ストーブによる建物火災を調べてみると、①てんぷら油をこまめにかけたまま放置した。②たばこの灰が落ちていた。③こみ箱などに油をこぼれかき、こみ箱などに捨てた。④石油ストーブのタンクに間違ってガソリンを注入したり、電気ストーブに接触した際、点火スイッチが作動してしまったことに気づかなかつた。⑤などが原因であることがわかりました。



初期消火訓練を体験した国分北在住の広報モニター 山本 朝子さん

慌てず落ちついて

火事の初期には、家庭にある消火器で火事を未然に防ぐことも可能です。でも、実際にどうなのか？広報モニター山本さんに、消防署の中庭で体験してもらいました(写真)。

その結果は見事数秒間で消火に成功。前日に消火器の扱い方を調べ直しておいたので、落ちついて行動できました。消火器の安全栓を抜き、ホースを火に向けレバーを振りしめるだけなので、扱い方は簡単。落ちついてさえいれば、女性でも十分火を消せることが改めてわかりました」と話してくれました。



※近年、不審火や放火による火災が特に目立っています。燃えやすいものを家の周りに放置するのをやめて、家を留守にするときは、近所に声をかけておく習慣をつけましょう。

みなさんのご協力を

「防火の輪」つなげて広げて「防火の輪」を統一標語に、今年も三月一日から七日まで、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。この運動期間中、市消防本部、消防署、消防団では、大型店舗や危険物運搬車両などへの立ち入り検査や、林野火災の予防巡回、消防車両による広報などを行いますので、ご協力をお願いいたします。



モニター募集します
モニターを募集します。期間平成6年4月～7年3月。謝礼年額1万5千円程度。

西口第3を新設 5百台

自転車・原付 有料駐車場

市では、四月使用開始分の海老名駅東口・西口の自転車・原付自転車専用駐車場を新設し、五百台の自転車専用駐車場を、三月四日(金)から十二日(土)まで、次の方法で受け付けます。



東口管理棟(33・1020)
西口管理棟(34・5700)
【原付専用自転車】
【自転車専用自転車】

あなたの自転車、バイク
公共の場所に自転車、バイクを置き、その利用者が遠く離れたところへ移動...

集まれ!ジュニアリーダー研修生
平成五年ジュニアリーダー養成研修会の参加者を次のとおり募集します。

市政
建設、都市、環境、福祉、教育など、市の行政施策に関心や意見をお持ちの方を募集します。

消費生活
消費者の意見や情報を収集し、消費生活行政に市民の意見を反映させるために募集します。

3月13日(日) 市民歩け歩け大会
市教育委員会は、歩くことを通じて日常における健康の保持、増進と参加者相互の親睦を図る目的で、毎年市歩け歩け大会を開催します。

情報コーナー
市役所 〒243-04 海老名市勝瀬175 ☎31・2111(代)

奨学生を募集

高校9万円、大学20万円以内

平成6年度
大学への修学が困難な方に奨学金を給付し、修学を奨励するもの。

大、猫などのペットは、私たちの生活に馴染み深いものですが、気が付かぬうちに他人に迷惑をかけていることがあります。

愛情と責任を忘れず
先を標示した首輪などをつける原因になります。その他の原因では、飼育の場所、散歩の仕方などに手掛かりになります。

みんなの伝言板
このコーナーに掲載を希望する方は、原稿を作成して、広報えびな(内紙)へ、入稿してください。

室内温水プール3月8日13日臨時休館
高座敷組合同屋内温水プールでは、三月八日(火)から十三日(日)まで施設点検のため臨時休館します。



生きた表現 楽しく学ぶ
障害者と交流のない人々には、たとえ善意からであっても、「障害者」として見られる傾向が強い。

マイカー控えてバス・電車
自のテキストも作成し、勉強会以外でも、クリスマスやハイキングを通して、障害者と交流を深め合った結果、会員の中から、講演会などで同時通訳を務めるほどの上級者が年々増え続けている。

手話サークル
手話サークルは、手話の勉強だけでなく、手話を通じて、障害者と交流を深め、社会参加の機会を増やすことが目的です。

学童クラブ「みえはる」新1年生募集
対象 今泉小・海老名小
詳しくは同クラブ ☎34・1261へ。夜間は永野 ☎53・9197まで。

大谷剣友会会員募集
対象 小学生から大人まで
日時 毎週日曜日(第1・3は午前9時～11時、第2・4は午後6時～8時)。



仕込み作業にとりかかる「さつき会」会員

恒例の寒仕込み

二月三日、市農協婦人部「さつき会」が、市内の小学生を対象にした「さつき会」の恒例行事「寒仕込み」を行いました。

当日は、十一月に開催される「市産菜まつり」に出品するたが、国分南「千目」の農協青壮年部・婦人部センターで、伝統的な食生活を見直し、恒例の寒仕込みのみそ造りを行いました。

め、約二百のみそを仕込んだ会員たちは、手際よく大豆と米こうじを混ぜる作業などに励んでいた。同会のみそは、添加物は使わず、市販のみそより米こうじの量が多く、塩分をひかえているのが特徴で、固定客がいるほどの人気だ。

国体出場めざして

小学生のラグビー教室

市内の小学生を対象にした「ラグビー教室(5日間実施)」が、一月二十日から、運動公園陸上競技場で行われ、二十人が参加した。

この教室は、ラグビーの基本的な技術や知識を通して体力的増進を図ると、市ラグビー協



将来は国体でプレーを...

フォトピックス

小学生10人が表彰

牛の図画コンクール

一月三十日、神奈川県農政総合センターで「第六回小学生牛の図画コンクール」の表彰式が行われ、四十四人の受賞者のうち市内から十人が表彰された。

同コンクールの主催は神奈川県牛乳普及協会、子供たちが実際に観察した「牛」をホスター



舞台上では子供たちの見事な熱演が...

パチさばきを披露

はやしの叩き初め大会

市内の小・中学生約五百人が威勢のよいパチさばきを披露する「新春はやし叩(たたき初め大会)」が、一月

三十日、市総合福祉センターで行われた。この大会は、市内各地に残るまつりばやしを継承するために発足した「海老名市はやし保存連絡協議会(雨宮勇助協議会長、17団体)が毎年行っているもので、今年で十五回目。



個性的な作品がいっぱい

海老名むかしむかし

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

1月28日～2月17日 第19回話 家伝の妙案
2月18日～3月14日 第20回話 ちぢい田



怪力おハツ婆さん

天保三年(一八三二年)に始まった大船鐘は、同七年まで続いたが荒廃したが、その前の文化文政時代(一八〇四年～一八二九年)は比較的平和で、農村も小康を保っていた。その頃、大谷の大きな農家におハツという怪力婆さんがいた。



振り向きもしないで行き過ぎってしまったが、小娘に思わぬ不覚をとった男は、お祭りの草履馬に乗って、近隣の悪い仲間を誘って、帰りを待ちふせ、小松林の奥へ連れ込もうとした。昔の農村では「女を担ぐ」といって、目星をつけた娘などを若者が大勢で拉致するという悪い風習があった。世間はうるさいもので、そんなことがあつたらしく、鬼と云われるようになって、大女でもなく、普通はなかつたが、知らない者は鬼骨に聞いただけで筋骨隆々、容貌怪異な朱面の女を連想したのだから。そんな娘を嫁に貰ったら家中殺されたら家破れだと言ふ。手も足も出さず、高下駄のまま十六六(六

が、この連中も、嫁入り前の娘を疵物にしてやろう、という魂胆だったのだから。しかし、取り巻いた若者が手も足も出さず、お祭りの草履馬に乗って、近隣の悪い仲間を誘って、帰りを待ちふせ、小松林の奥へ連れ込もうとした。昔の農村では「女を担ぐ」といって、目星をつけた娘などを若者が大勢で拉致するという悪い風習があった。世間はうるさいもので、そんなことがあつたらしく、鬼と云われるようになって、大女でもなく、普通はなかつたが、知らない者は鬼骨に聞いただけで筋骨隆々、容貌怪異な朱面の女を連想したのだから。そんな娘を嫁に貰ったら家中殺されたら家破れだと言ふ。手も足も出さず、高下駄のまま十六六(六